

平成24年度
実施事業

事務事業名	老人クラブ運営費補助金
-------	-------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	1	長寿社会の基盤づくり
主要な施策	1	①高齢者の生きがいづくりの場と機会の充実
事務事業番号	004	事業開始年度 昭和 45 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 高齢者が健康で生きがいを持って生活できるよう、市内各地の老人クラブで行なっている活動に対し補助することで、高齢者福祉の増進を図る。
	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) 市内38箇所の老人クラブの事業推進のため、補助金を交付し支援する。 主な事業 ・社会奉仕事業 ・防犯・防災・交通安全活動 ・健康づくり・介護予防体操 ・パークゴルフ、室内ゲーム ・趣味のサークル活動 ・会員勧誘活動 ・世代間交流
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 高齢者の社会参加を促進し、高齢者相互の交流を図り地域社会に貢献するとともに、高齢者福祉の充実を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) 老人福祉法

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称 老人クラブ道補助金	千円	756	734	734	734	734
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	1,490	1,452	1,498	1,498	1,498
事業費 合計			2,246	2,186	2,232	2,232	2,232

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	①	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,286	2,230			
	②	目標値						
		実績値						

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
補助金の一部は北海道からの支出金で賄われているが、老人クラブ連合会の会員数の減少で、道からの補助金が年々減少している。	老人クラブの会員数確保に向けて、老人クラブへの入会の勧誘や周知活動を行った。 平成24年度に、補助金積算における団体割の補助単価について見直しを行い、平成25年度から、北海道の補助単価と同額にすることとした。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 各地区の老人クラブ活動を通じて、高齢者の交流の輪を広げ、生きがい作りを推進するため妥当性は高い。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 高齢者の社会参加を促進することができるため、必要性は高い。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input checked="" type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 平成20年度から、会員割を1人当たり100円減額した。また、平成25年度から、団体割を北海道の補助単価と同額とした。 各老人クラブは、様々な事業を推進しており、効率性は高い。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input checked="" type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 老人クラブの加入者数は、目標には達していないものの、各老人クラブが支障なく各種活動を実施できたことから、成果が上がったものと考えられる。
	<input checked="" type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	老人クラブの加入会員数が減少傾向にあることから、老人クラブの活動内容等を周知していく。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)